









あかしSDGsパートナーズ取組計画書

明石市長 様

あかしSDGsパートナーズの取組計画を以下のとおり提出します。

(記入日)2022年6月23日

団体名	江井ヶ島漁業協同組合			TEL	078-946-1313				
代表者名	橋本 幹也			メールアドレス	jf_eigashima@tea.ocn.ne.jp				
目指すゴール 【複数選択可】 ※ゴール下の枠を チェックしてください									
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
									<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2030年までに達成したいこと	漁業の強みを活かした海上清掃による、マイクロプラスチック環境問題に取り組む。また、廃フロートの燃料ペレット化を推進し、リサイクルモデルを取り入れた地域社会発展に努める。								
重点的な取組 (※)	【取組①】			目標値 / 達成年					
	●取組の趣旨・目的 瀬戸内海を漂流する浮遊ゴミは約4,500トン/年とされ、年々増加傾向にある。また、マイクロプラスチックによる環境問題も深刻化している。本取組実施により、持続可能な豊かな海と陸の保全を目指し、学校関係への質の高い教育(出前授業)を促進する。			海の清掃活動年回収量 約10トン/2030年					
	●具体的な取組内容 ・漁船及び底曳き網等の漁具を活かした効率的な海の清掃活動 ・マイクロプラスチック削減への積極的な取り組み ・海を守る活動の一環として、学校と連携した出前授業を実施			該当するゴール					
				  					
【取組②】			目標値 / 達成年						
●取組の趣旨・目的 当組合おける廃フロートの排出量は約300個/年であり、増加傾向にある。本取組を実施し、持続可能な豊かな海の保全を目指すだけでなく、つかう責任として燃料代替としての再資源化を図る。また、2030年以後も海上発泡プラゴミを燃料化する等先を見据えた取組とする。			ペレット再資源化年間 約3トン/2030年						
●具体的な取組内容 ・減容機及びペレット製造機を用いた廃フロートの燃料ペレット化 ・燃料ペレット利用推進及び先を見据えた海上発泡ゴミの再資源化 ・海を守る活動の一環として、学校と連携した出前授業を実施			該当するゴール						
			